

JA全農ひろしま 米穀事業のあゆみ

できごと

1954年(昭和29年)	「中生新千本」(主食用ち米)が県で採用される	2001年(平成13年)	4月/JA広島経済連は、全国農業協同組合連合会と合併し、組織名を「全国農業協同組合連合会広島県本部」(愛称JA全農ひろしま)とする
1955年(昭和30年)	米の事前予約売渡申込制度実施		4月/「パールライス広島株式会社」事業開始
1958年(昭和33年)	米の予約制度実施	2003年(平成15年)	広島米キャラクター「い〜ねくん」誕生
1959年(昭和34年)	12月/広島米改良協会を設立	2006年(平成18年)	4月/子会社(パールライス広島(株)、株)ヒロケイ、福山鶏卵(株)を合併し、「(株)全農広島直販」を設立 4月/農産物検査の完全民営化
1961年(昭和36年)	「農業基本法」公布	2010年(平成22年)	戸別所得補償制度(モデル対策)開始
1962年(昭和37年)	「八反35号」(酒米)が県で採用される	2011年(平成23年)	4月/(株)全農広島直販からパールライス部門を広島県本部本体へ復帰 6月/ISO9001:2008登録 頒布会をリニューアルして「米消費拡大運動」としてスタート 経営所得安定対策の実施
1967年(昭和42年)	昭和42〜47年/稲作近代化運動を展開	2012年(平成24年)	備蓄米制度の導入
1968年(昭和43年)	「シルバーチェーン」を結成	2014年(平成26年)	「あきさかり」「中国201号」(主食用ち米)が県で採用される 「カーブ応援米」恋の予感(精米商品)を販売開始 「JAの選りすぐりシリーズ コシヒカリ、あきろまん」(精米商品)を販売開始
1969年(昭和44年)	自主流通米制度の導入に伴い取扱を開始	2015年(平成27年)	(工場・品質管理室)米飯食味評価制度適正事業所に登録 (米穀販売課)「豊穡神楽米」「サンフレッチェ応援米」(精米商品)を販売開始 (米穀総合課)飼料用米の取組本格化
1978年(昭和53年)	水田利用再編対策が始まる	2016年(平成28年)	(米穀総合課)平成30年産米以降の米穀事業の方向性について本格的な検討開始 (米穀販売課)ひろしま米の親善大使「JAお米のアンバサダー」結成 (米穀販売課)お米に関する情報を掲載した小冊子「ムスポ」創刊
1981年(昭和56年)	「コシヒカリ」(主食用ち米)が県で採用される	2017年(平成29年)	全農自己改革推進本部の設置 (米穀販売課)「賀茂八十八」「北広島町豊平あきさかり」「ベトボトル ベボラ」の発売開始 (米穀販売課)JAと連携した「JA米販売専門チーム」の活動開始 (米穀総合課)業務用米需者と連携した複数年契約栽培による生産から販売までの仕組み構築 国による米の生産調整停止が決定
1982年(昭和57年)	精米ブランドを「パールライス」に変更し、全国統一ブランドとなる シルバーチェーンをパールライスチェーンに改名	2018年(平成30年)	3月/JA全農ひろしまパールライス工場精米HACCP認定取得 5月/ボプラとJA全農ひろしまが協力 店舗巡回による店炊きご飯品質の審査 10月/STU48コラボ米広島県産恋の予感発売 ウィズガス親子クッキングコンテストに協賛 広島県産米を贈呈 県内の小学校でひろしま米について出前講座を開催 平成30年産より全量買取へ
1983年(昭和58年)	「広島米づくり1・2・3運動」の県推進本部を設置 11月/系統精米ブランド10周年記念大会開催 「奥様感謝キャンペーン」実施 12月/お米券の取扱開始		
1984年(昭和59年)	2月/広島米づくり1・2・3運動推進大会開催 「八反綿」(酒米)、「ヒメノモチ」(もち米)が県で採用される		
1986年(昭和61年)	「おこめギフト券」が全国共通となる		
1987年(昭和62年)	パールライス「天恵米」を新発売 「天の恵みキャンペーン」実施 12月/米需給均衡化緊急対策への取り組み		
1988年(昭和63年)	有機減農薬米の基準づくりを行い、千代田町・三次・高田郡農協で有機減農薬米の栽培を行う		
1989年(平成元年)	6月/広島おいしい米づくり運動の展開 有機減農薬米を県内統一ブランド「あひろくん」(精米商品)として販売		
1990年(平成2年)	海と島の博覧会終了後、「おらの自慢作」パール美人(精米商品)を特別表示米として販売 「あきたこまち」(主食用ち米)が県で採用される		
1991年(平成3年)	「ヒノヒカリ」(主食用ち米)が県で採用される		
1992年(平成4年)	3月/豊かなお米加工品展92に、開発中の「米の乳酸菌発酵食品」を出展 11月/水田富農活性化対策大綱の骨子が好評され対応を開始 平成4・5・6年/広島おいしい米づくり第2期運動		
1993年(平成5年)	ガット・ウルグアイ・ラウンドに合意		
1994年(平成6年)	冷害による不作(平成の米騒動)の緊急措置として、外国産米の取扱を始める 「あきろまん」(主食用ち米)、「こいおまち」(酒米)が県で採用される		
1995年(平成7年)	1月/食糧事務所の要請により、阪神大震災の被災地に対し、支援米として240トンの精米を供給 3月/県産米「あきろまん」(精米商品)を県下統一のデザイン袋で販売開始 7月/新食糧法に対するJAグループの対応として、「ひろしまの米生産・集荷・販売JA結集大会」を開催 11月/JAグループ広島「RICE戦略推進総決起大会」を開催した 平成7〜12年/ひろしま米の里づくり運動		
1996年(平成8年)	「ひとめぼれ」(主食用ち米)、「ココノエモチ」(もち米)が県で採用される		
1997年(平成9年)	10月/県産米「朝霧米」(精米商品)の販売を開始 12月/新たな米政策対策推進本部を設置 12月/県産米「毛利元就」(精米商品)の販売を開始		
1998年(平成10年)	11月/系統消費地ネットワーク統一米「真珠伝説」(精米商品)2アイテムの販売を開始 「こいもみじ」(主食用ち米)が県で採用される		
1999年(平成11年)	6月/県内JA独自米中心の「こだわりのいっばい広島米味めぐりの会」頒布会を開始 11月/新酒米精米工場が完成し、竣工式を行う 「こいもみじ」(精米商品)販売を開始		
2000年(平成12年)	12月/「パールライス広島株式会社」を設立 「千本錦」(酒米)が県で採用される 広島米改良協会から広島県穀物改良協会に名称変更		

農政関連
JAグループ
JA全農
JA全農ひろしま米穀部
その他

精米工場のあゆみ

精米工場 整備拡充のあゆみ



- 2001年(平成13年)** 統合
- ・無洗米ラインの新設
 - ・2004年(平成16年) 精米設備改善
 - ・2005年(平成17年) 新パッキングマスター新設
 - ・2006年(平成18年) 異物除去選別機(マジックソーター)の導入(酒米工場)
 - ・2007年(平成19年) 中央制御システムの導入(酒米工場)
 - ・2008年(平成20年) 小口精米ライン改造
 - ・2011年(平成23年) 県本部への復帰に伴い、名称が「パールライス工場」となる
 - ・無洗米ライン光選別機更新
 - ・異物選別機増設
 - ・ISO 9001:2008登録
 - ・2012年(平成24年) 小口精米機の導入(酒米工場)
 - ・2015年(平成27年) 光選別機更新
 - ・2016年(平成28年) 新精米ライン起工式
 - ・2017年(平成29年) 新精米ライン完成
 - ・2018年(平成30年) 精米HACCP認証
 - ・自動倉庫システム更新